

# 弟子の 祈り



# 弟子の祈り

---

## はじめに

本テキストを手にとられた方へ

『天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。  
御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように地でも行なわれますように。  
私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。  
私たちの負いめをお赦してください。  
私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。  
私たちが試みに会わせないで、悪からお救いください。』  
[国と力と栄えは、とこしえにあなたのものだからです。アーメン。] (マタイ 6:9-13)

イエス様が弟子たちに教えられた「主の祈り」は、神の摂理の中でユダヤ教のラビ(教師)たちが教えていた祈りの内容とほぼ同じ内容です。イエス様は 12 人の弟子たちを選び、3 年半もの間、弟子たちと寝食を共にし、ご自身がどのようなお方であるのかを示し、神の国のご計画を教えられました。そして、この弟子たちを通して、全世界を造り変える働き、神の国を建て上げる働きを押し進めてくださいました。

イエス様は弟子たちと共にミニストリーをされ、弟子たちはイエス様ご自身が旧約聖書に記されている律法に従っている姿を体験的に学びました。祈りとは、神の前に出て御心を聞き、実行に移していくことです。イエス様ご自身の生涯が祈りの人生そのものであり、イエス様はその模範を弟子たちに示してくださいました。そして、キリストの弟子とされた私たちも、この「弟子の祈り」を祈ることを通して、神の国の建設に携わることを宣言することになるのです。

本テキストは、文章自体が祈りの型となるように作成していますので、文章を読み上げ、各章の最後で「イエスの御名によってアーメン」と宣言することでそれ自体が祈りとなります。さらに自分の言葉で祈りを主に捧げられるよう、繰り返して祈りに用いてくださることを期待しています。

「弟子の祈り」とは、その祈りを通して神の国が建て上げられていくために、私たちが単に暗記して告白するだけでなく、実践をするようにと指示された祈りです。この祈りを学び、そして、実際に祈り込むことを通して、愛する兄弟姉妹がキリストの弟子として、さらに主の御姿に整えられて行くことを確信しています。

# 弟子の祈り

---

## Contents ●目次

---

|   |    |
|---|----|
| はじめに .....                                | 1  |
| <b>No. 1 「天にいます私たちの父よ」</b> .....          |    |
| 1. 天にいます .....                            | 4  |
| 2. 私たちの父よ .....                           | 4  |
| <b>No. 2 「御名があがめられますように」</b> .....        |    |
| 1. 御名は「主」「イエス」 .....                      | 5  |
| 2. あがめられますように .....                       | 5  |
| <b>No. 3 「御国が来ますように」</b> .....            |    |
| 1. イエス様の王国 .....                          | 6  |
| 2. 御国が来ますように .....                        | 6  |
| <b>No. 4 「みこころが行われますように」</b> .....        |    |
| 1. みこころはイエス様 .....                        | 7  |
| 2. 天で行なわれるように地でも行なわれますように .....           | 7  |
| <b>No. 5 「日毎の糧をお与えください」</b> .....         |    |
| 1. 日毎の糧 .....                             | 8  |
| 2. みことばをお与えください .....                     | 8  |
| <b>No. 6 「私たちの負い目をお赦してください」</b> .....     |    |
| 1. 私たちの負い目をお赦してください .....                 | 9  |
| 2. 私たちも、私たちに負い目のある人たちを赦しました .....         | 9  |
| <b>No. 7 「試みに会わせないで、悪からお救いください」</b> ..... |    |
| 1. 試みに会わせないでください .....                    | 10 |
| 2. 悪からお救いください .....                       | 10 |
| 終わりに .....                                | 11 |

## 弟子の祈り

---

# 弟子の祈り

---

## No. 1 「天にいます私たちの父よ」

### 1. 天にいます

主よ、あなたは天と地を創造され、すべてを治めておられるお方です(創世記 1:1)。全宇宙を含めてこの世界全てを創造された全能の神(エル・シャダイ)です。

あなたは全宇宙を造られた全能の神であられるお方なのに、取るに足りない私たちと関わりを持ちたいと願っておられることを感謝します。あなたはご自身がお造りになったすべてのものを見て、「非常に良かった」と宣言してくださいました(創世記 1:6)。私たちはあなたの作品であり、良い行いをするために造られました(エペソ 2:10)。

あなたは私たちの全てを知っておられ、私たちの出来ることには限界があることもご存知です。それにもかかわらず、私たち一人ひとりを祝福の基として用いたいと願っておられます。あなたの偉大なご計画に参画させて頂ける恵みを感謝します。今日も空の器をあなたの前に差し出しますから、あなたの祝福を押し流す通り良き管として、あなたの御用のために私たちを用いてください。

あなたの御前に私たちの全てを明け渡します。今日もあなたのお住まいである天から恵みを豊かに注いでください。聖霊の油注ぎによって、私たちはあなたの働きを実践していくことができます。

### 2. 私たちの父よ

主よ、あなたを「私たちの父」と呼ぶことができる恵みを感謝します。イエス様が十字架の血潮による贖いをもって、あなたと私たちの間に仲裁に立ってくださったので、私たちは「アバ(お父さん)」とあなたに親しく呼びかけ、飛び込んでいきます。父なる神様、あなたは「イエスは主」と宣言するすべての弟子たちのお父さんです。

私たちのお父さん、あなたは、すべての良きものの源であり、慈愛に満ちた扶養者です。「悪い人にも良い人にも太陽を上らせ、正しい人にも正しくない人にも雨を降らせてくださる(マタイ 5:45)」お方です。私たちに愛を注いでくださり、また、必要の全てを知っておられ、それが私たちに必要であることを知っておられます(マタイ 6:31-32)。

また、私たちのお父さんは、尊敬と愛を持って従うべき扶養者です。たとえ、私たちがあなたから離れてしまっても、あなたは私たちと関係を持とうとし続けてくださいます。そして、私たちを訓練して戒め、私たちを回復してくださるのです。

「まことに、私たちの神、主は、私たちが呼ばわるとき、いつも、近くにおられる。このような神を持つ偉大な国民が、どこにあるだろうか。(申命記 4:7-8)」

私たちがあなたと一つとなり、あなたが御子を遣わされたことを世が信じるために、イエス様は完全な贖いを成し遂げてくださいました。あなたは私たちに御子の御霊を与えてくださって、私の歩みを導いてくださる真実なお方です。

私たちのお父さんにすべての栄光と主権をお返しします。

# 弟子の祈り

---

## No. 2 「御名があがめられますように」

### 1. 御名は「主」「イエス」

あなたのお名前は、「主」であり、「イエス(主は救い)」です。その御名は救いであり、力と権威に満ちたお名前です。この御名の中に神様の本質(力、能力)が満ち溢れているので、「主」「イエス」というお名前を知っているだけで、私たちは充分です(詩篇 91:14-16)。私たちは、あなたの御名の中で守られて生きる、幸いな者とされていることを心から感謝します。

主よ、あなたはモーセに、「わたしは『わたしはある』という者である。」(出エジプト 3:14)とご自身のお名前を明らかにされました。私たちの必要がどのようなものであったとしても、「わたしはあなたのすべてである！」と宣言してくださることを感謝します。

また、イエス様もこの地上を歩まれた時、12人の弟子たちにご自身のお名前を積極的に明らかにされました。あなたは「生ける神の御子キリスト」(マタイ 16:15-17)です。イエス様は油注がれた王であり、祭司であり、預言者です。あなたの御名は、全宇宙、全被造物の中で最高の権威を持つお名前です。

今日もあなたの御名の権威によって祈ることができる恵みを感謝します。

### 2. あがめられますように

主よ、あなたの御名が聖とされ、あなたの存在が全く別格であり、他のものと比較にならないほどの偉大なお方であることが、全世界の人々に明らかになりますように。

イスラエルの民にとって、御名を聖別することが、主のために自分の命を捧げる殉教者を意味していたように、私たちも自分に死に、自分の十字架を負ってあなたについて行きます。イエス様がイスラエル、そして全人類のために御名を聖別され、十字架による贖いのみわざを完成してくださったからです。

「神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるものすべてが、ひざをかがめ、すべての口が、『イエス・キリストは主である』と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。(ペリピ 2:9-11)」生きるにも死ぬにも、私たちの存在を通して、イエス様の御名が聖とされますように(ペリピ 1:20-21)。そして、その恵みがイスラエルと全世界の人々にまで及び、神の国の働きが拡大していきますように。

私たちの切なる願いは、聖霊によって「イエスは主」と告白するしもべとして、私たち教会のすべての歩みを通して、主の栄光を見させていただくことです。私たちは神の作品であり、良い行いをするために主にあつて造られたことを信じます(エペソ 2:8-10)。私たちが、「食べるにも、飲むにも、何をするにも、ただ神の栄光を現すために(1コリント 10:31)」歩んでいくことができるよう、聖霊様、今日も私たちを導いてください。

# 弟子の祈り

---

## No. 3 「御国が来ますように」

### 1. イエス様の王国

父なる神様、あなたのご計画は、御子イエス・キリストが治める御国、「イエス様の王国」をこの地に打ち建てることです。万物は御子にあって造られました。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです(コロサイ 1:16)。「神の国」は王なる主イエス様のご支配が行き渡っているところであり、そこにはあなたの愛、聖さ、義、全能の力が現わされ、イエス・キリストご自身が満ち溢れています。「神の国」は義と平和と聖霊による喜びです(ローマ 14:17)。あなたとの慕わしく美しい関係で満ち、良いもので満ちています。

「時が満ち、神の国は近くなった。(マルコ 1:15)」と言われる主よ、「神の国」はもう既に私たちの只中に来ていることを感謝します(ルカ 17:20-21)。そして、今日もイエス様が治められる「神の国」とその義をまず第一に求めます(マタイ 6:33)。

### 2. 御国が来ますように

私たちが、「御国が来ますように」と祈る時、それは「あなたの統治(ご支配)を統治し続けられますように」と祈ることであることに感謝します。神様の永遠の統治・ご支配が、すべての領域において、しかも、時間的制約を超えて保たれ、広がっていきますように。

あなたは、人を土のちりから造り、いのちの息を吹き込んで、神の祝福の継承者とされました(創世記 2:7-8)。しかし、サタンの誘惑により、人は神に背き、エデンの園を追放され、サタンの国(罪と死)の支配がこの地に始まりました。私たちは罪の性質を継承し、自己中心の罪に縛られることになりました。しかし、あなたは、イエス様によりサタンを滅ぼし、「神の国」を再興するご計画を宣言されたことを感謝します(創世記 3:15)。

あなたはアブラハムを選ばれ、アブラハムの子孫イスラエルを造り出されました。そして、このイスラエルからダビデが油注がれた王として立てられました。あなたが、ダビデに約束された通り、イエス様はダビデの子としてこの地に誕生され、十字架による死と葬りと復活により、サタンの支配に対する「神の国」の勝利、回復の約束が成就しました。ハレルヤ！私たちはすべての罪や束縛から解放されたのです。

イエス様は今天におられますが、もうすぐこの地に帰って来られます。その時、イエス様が王として圧倒的な愛と力でご支配される「神の国」が完成します。本来、契約から除外された異邦人である私たちも、イエス様によってイスラエルに接ぎ木され、神の国の祝福を受け取る恵みが与えられ、神の国を受け継ぐ保証である聖霊様が与えられています(エペソ 1:13-14)。私の内に、家族の中に、私たちが遣わされている只中に、聖霊によって神の愛と力が注がれ、神の国の支配がなされますように。今日も感謝と喜びをもって、神の国とイエス様の福音を宣べ伝えていきます。「御国が来ますように！」

# 弟子の祈り

---

## No. 4 「みこころが行われますように」

### 1. みこころはイエス様

主よ、私たちはあなたの「みこころ」を慕い求めます。「みこころ」とは、意志、願望(こうしたい)、好意(良いことをしてあげたい)、喜びです。そして、天のお父さんの完全な願い、好意、喜びは、「イエス・キリスト」です。イエス様こそ、神様の本質の完全な現れであり、あなたの愛と情熱そのものです。そして、イエス様ご自身も、「わたしが天から下って来たのは、自分のこころを行うためではなく、わたしを遣わした方のみこころを行うためです。(ヨハネ 6:38)」と、あなたのみこころを求めて歩み続けてくださいました。私達もイエス様の模範に倣う者として、あなたのみこころを行う者とさせていただきます。

イエス様の十字架のみわさが、あなたのみこころそのものであったことに感謝します。主は、私達が生涯かけても返すことのできない負債を完済するために、御子イエス様をこの地に遣わし、十字架に架けられました。イエス様の死と葬りと復活のみわさこそ、あなたのみこころそのものであり、イエス様ご自身も父のみこころに従って、私達の負債を完済するために、十字架の死にまでも従い通してくださいました。今日も父なる神様のみこころである、イエス・キリストだけに栄光がありますように。

### 2. 天で行なわれるように地でも行なわれますように

主よ、あなたのご支配が完全になされている「天」と同じように、まだ完全にはなされていないこの「地」にあっても、あなたの完全な思い、情熱、喜びが満たされていきますように。私達は、すべての領域、すべての場所において、完全に、あなたのみこころがなされるようにと祈ります。私達の感情、考え方、態度、姿勢に至るまで、イエス様の死と葬りと復活のみわさがなされますように。そして、世界のすべての人々、すべての領域にも、主のご意志が完全になされていきますように。

また、イエス様がそうされたように、私達も「遣わした方のみこころを行い、そのみわさを成し遂げること(ヨハネ 4:34)」を喜びとすることができますように。あなたの喜びであるイエス様が、私達の内にもっと息づいてくださる時、私達は主のみこころを知るだけに留まらず、それを行う力を“主”が与えてくださると信じます。

天の父と御子イエス様の間の関係は、「あなたが喜びだよ。あなたで充分だよ。」という関係性であることに感謝します。お互いに「充分だよ」と認め合う父と子の関係の中に、私達も聖霊によって入れられていることを感謝します。「わが神。わたしはみこころを行うことを喜びとします。あなたのおしえは私の心のうちにあります。(詩篇 40:8)」と告白する者とならせてください。イエス様ご自分の思いを無にして、恐れに屈服することなく、父なる神様の意志を行われたように、私達も天のお父さんに信頼し、神様のみこころに従う者とならせてください。

あなたのみこころを行うことは、私達の喜びです！



# 弟子の祈り

---

## No. 5 「日毎の糧をお与えください」

### 1. 日毎の糧

主よ、私たちは日毎に必要な糧を慕い求めます。出エジプトしてモーセに導かれたイスラエルの民は、あなたが天から降らせくださったマナ(パン)によって荒野で養われました。あなたは、毎日、一日分を集めるようにイスラエルの民に命じられました。これは、イスラエルの民が、あなたのおしえに従って歩むかどうかを確認するためでした(出エジプト 16:4)。

私たちは、「集めたマナを翌朝まで残しておいてはならない」とあなたに命じられたにもかかわらず、その日に集めた分を翌朝まで残しておいたイスラエルの民のように、必要以上に将来に不安を覚え、あなたが私たちに与えてくださっているもので十分なのだろうかと心配してしまう弱者です。しかし、あなたは私たちの必要の分を知っておられる良いお父さんです。あなたは、「神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。だから、あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。労苦はその日その日に、十分あります。(マタイ 6:33-34)」と約束してくださいました。あなたが定められた、日毎に、必要なパン、神の国によって、私たちが養い導いてください。

「貧しさも富も私に与えず、ただ、私に定められた分の食物で私を養ってください。(箴言 30:8)」主の御名と栄光が汚されず、私たちがいつもあなたと共に歩み続けられますように。

### 2. みことばをお与えください

主よ、私たちの日毎の糧(パン)は、あなたのみことばであり、イエス様ご自身です。アダムが神様に背いてから、私たちは一生苦しんで糧(パン)を得ることになってしまいました。しかし、イエス様が十字架によりサタンを打ち破って勝利してくださったので、私たちは、天からの生けるパン、イエス様にあって生きる者へと変えられました。

イエス様、あなたは「パンの家」を意味するベツレヘムでお生まれになりました。あなたは、「糧(パン)は神のみことばであり、イエス様そのものである」ことを弟子たちに明らかに示してくださいます。「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる』と書いてある。(マタイ 4:4)」とあるように、私たちはあなたのみことばのパンを食べて歩みます。「わたしがいのちのパンです。(ヨハネ 6:35)」と宣言して下さる主よ、今日もあなたから天からのいのちのパンを頂けることを感謝します。

主こそ私の受ける分です。私たちの地上の人生に必要なものは、天から来られたパンであるイエス・キリストが満たしてください、神の王国に入るその日まで、あなたが私たちに導いてくださると信じます。私に定められたみことば、イエス様によって、今日一日を生きる者としてください。

## 弟子の祈り

---

### No. 6 「私たちの負い目をお赦してください」

#### 1. 私たちの負い目をお赦してください

主よ、私たちの負い目、「罪」をお赦してください。マタイ 18 章の 1 万タラント(16 万年分の賃金に相当)もの借金を赦されたしもべのたとえ話のように、私たちの贖いの代価は途方もないほど高額で、返済することは不可能なものです。イエス様が十字架による贖いのみわざによって、私たちが自力では決して返すことのできない、借金、負債、負い目をすべて完済して下さったことを感謝します。

イエス様は十字架の上で、ご自身を殺そうとしている人を前にして、「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。(ルカ 23:34)」ととりなしの祈りを捧げて下さいました。あなたが「赦す」と宣言して下さる時、私たちの背きの罪は雲のように、私たちの罪はかすみのようにぬぐい去られます(イザヤ 44:22)。私たちの負債、負い目は完全に消えてなくなってしまうのです。そして、「わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さないからだ。(エレミヤ 31:34)」という、主がイスラエルと「イエスは主」と信じるすべての者との間に結んで下さった新しい契約が、イエス様の十字架の死と葬りと復活によって成就します。何という恵みでしょうか。主からの負債の免除を日々受け取ることができる恵みに、今日も心から感謝します。

#### 2. 私たちも、私たちに負い目のある人たちを赦しました

私たちの負い目を完全に赦して下さった主よ、私たちも、私たちに負い目のある人たちを赦します。1 万タラントの負債を赦されたしもべは、自分に少しの負債のある者を赦すことができませんでした。私たちはあなたからどれだけ罪と負い目を赦され、負債を免除されているのか、その恵みを忘れてしまうことを赦してください。私たちには感情に突き動かされてしまう弱さがありますが、「もうこれ以上訴えるのはやめます。赦します。」と決断する力を与えてください。私たちが隣人の負い目を赦す決断をする時、主が私たちの感情をも取り扱って下さると信じます。そして、それが兄弟たちを牢獄から解放し、私たち自身をも解放することになると信じます。

私たちは自分の力で隣人を赦すことができないことを認めます。あなただけが鍵なのです。あなたとの関係と隣人との関係を切り離すことをせず、あなたから頂いた恵みをそのまま周りの人々に押し流します。あなたに赦された者は、あなたの恵みによって隣人も赦すことができることを感謝します。あなたの歩みに倣う者は祝福されます。

十字架を前にしたイエス様は、自分を裏切る弟子さえも含めて、その愛を余すところなく示そうと彼らの足を洗って下さいました。そして、「わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように」と命じました(ヨハネ 13:34-37)。あなたが打ち砕いて下さった壁は、神と私たちの間の壁だけでなく、隣人との間の隔ての壁も含まれていると信じます。敵意は十字架によって葬り去られたことを感謝します(エペソ 2:13-16)。

# 弟子の祈り

---

## No. 7 「試みに会わせないで、悪からお救いください」

### 1. 試みに会わせないでください

主よ、私たちが試みや誘惑に会わせないでください。私たちには誘惑に勝てない弱さがあることを認めます。だからこそ、主よ、あなたの助けが必要です。イエス様の生涯も試みの連続でした。公生涯の初めから荒野でサタンの試みを受け、ゲツセマネの園では、全人類の罪が入った杯と、神様から引き離される十字架の死を前に、苦しみもだえながら祈られました。弟子たちは肉体の弱さのゆえに誘惑に負け、イエス様の「誘惑に陥らないように祈っていなさい。(ルカ 22:40)」という言葉に従うことができず、何度も寝てしまい、祈ることができませんでした。しかし、イエス様はすべての試練と誘惑を経験され、それに屈することなく耐え抜いて勝利してくださったので、試みられている私たちに助けてくださることを感謝します(ヘブル 2:18)。

サタンは何とかして私たちの信仰を失わせようと、試みの中に私たちを引きずり込もうとしますが、私たちの大祭司であるあなたは、私たちの弱さに同情してくださり、今日も私たちが試みに会わないように、とりなし祈ってくださりありがとうございます。私たちが主の恵みの御座に近づく時、神様は御手を伸ばして、どのような困難な状況からも、私たちに救い出してくくださることを感謝します(ヘブル 4:15-16)。

### 2. 悪からお救いください

主よ、私たちがサタンの支配からお救いください。人類の歴史を見ても、国自体が「悪」の中に連れ込まれることがありました。イスラエル・ユダヤ人は歴史上で幾度も人間としての意志・尊厳を無視され、ホロコーストのような悪の力を経験しました。我が国日本においても、江戸時代や世界大戦中には、みことば通りに生きるなら家族を含めて迫害されるという厳しい時代を通過してきました。そして、終わりの時代が確実に近づいている今日にあって、悪が益々はびこり、勢力を増していくと聖書は語っています。しかし、イエス様の十字架によって、悪の世界からの救いが、私たちに既に与えられているから感謝します(ガラテヤ 1:4)。いつも霊的な目を覚まし、個人を超越した悪の力に支配されることがないように助け導いてください。また、「すべての人のために、また、王とすべての高い地位にある人たちのために願い、祈り、感謝がささげられるようにしなさい(1テモテ 2:2)」と命じられているように、国のリーダーのため、イスラエルと全世界の救いのために祈ります。「弟子の祈り」は、私たち教会の祈りです。

主よ、あなたは再びこの地に来られます。私たちのこの祈りの先にあるものは、「われらの生涯のすべての日に、きよく、正しく、恐れなく、主の御前に仕える(ルカ 1:74-75)」ことです。試みと悪からの救いと、イエス様による完全な支配と統治が約束されていることを感謝します。産みの苦しみの時代にあつて、喜びの時を迎える出産のように、被造物全体が主よ、あなたを待ち望んでいます。「マラナタ、主イエスよ、来てください！」

# 弟子の祈り

---

## おわりに

[国と力と栄えは、とこしえにあなたのものだからです。アーメン。] (マタイ 6:13)

「弟子の祈り」は、頌栄でクライマックスを迎えます。弟子の歩みの焦点は、神の国を完成されるイエス・キリストです。この方だけに栄光がありますように！アーメン！

### 1. 国と力と栄え

①「**国は主のものです！**」:「御国が来ますように。」既に勝利を取られ、神の右の御座に着座しておられる大祭司イエス・キリストが、やがて王の王としてこの地に戻って来られ、完成される神の国を先取り宣言します。

②「**力は主のものです！**」:「今日、**主**が私に定めてくださった分のパン、いのちの源である神のことば、**主**イエス・キリストを与えてください。」「私たちの罪を赦し、聖さを与えてください」「私たちを試みに会わせず、悪い誘惑から守ってください。」これらのすべてのことができる全能者の主権、力をあがめ、礼拝いたします。

③「**栄えは主のものです！**」:「御名があがめられますように。」神の御名が聖とされ、他の神々と区別され、高くあがめられますように。全ての栄光は**主**のものです。

### 2. とこしえにあなたのものだからです

「私たちの父イスラエルの神、**主**よ。あなたはとこしえからとこしえまでほむべきかな。**主**よ。偉大さと力と栄えと栄光と尊厳とはあなたのものです。天にあるもの地にあるものはみなそうです。**主**よ。王国もあなたのものです。あなたはすべてのものの上に、かしらとしてあがむべき方です。( I 歴代誌 29:10-11)」

イエス様が再びこの地に戻って来られる時、敵は打ち破られ、主権者であるイエス様が治める神の国が完成します。イスラエルも教会も、**主**イエス様をあがめ、礼拝し、すべての栄光を**主**にお帰しします。

### 3. アーメン！

アーメンとは、「誠実な行動を伴う信仰の歩み」です。イエス様だけが完全にアーメンであるお方であり、真実で、堅固で、信頼できるお方です。父なる神の御心に完全に明け渡し、その御心を成し遂げ、そのみわざを完成された後で、国と力と栄えのすべてを父なる神様にお返しになる、神の御子イエス・キリストの姿を見上げます。すべてを成し遂げられるイエス様を信頼します。**主**が再び来られるその時まで、私たちの人生を、**主**の栄光と他の人々の祝福となるように明け渡します。アーメン。

## 弟子の祈り

---



表紙のデザインは、エルサレム旧市街にあるクライストチャーチのステンドグラスを参考にしています。イスラエルを通して全世界を祝福するという神様が与えた契約を、オリーブの木の根と幹、栽培種の枝であるユダヤ人(メノラー)で表し、イエス・キリストによってそこに接ぎ木された野生種の異邦人クリスチャン(十字架)を表しています。

イエス・キリストが再びこの地に戻って来られるとき、イスラエルと異邦人の救いは完成し、すべてのものはキリストにあって一つとされます。

( 聖書参照箇所：創世 12:1-3、ロマ 11:11-24、エペ 2:11-22 他 )